

1 2 月 会 山 行	ポン喜茂別岳（970m）鉄塔下コース CL 藤木た
山岸スキーリーダー	S 西田（芳）・渡邊・酒井・笹山
後藤スノーリーダー	S 藤木晴・永宮・鈴木・及川・栗山・伊藤・西田昌・八重樫

6：40 伊達道の駅でリーダーより「喜茂別岳からポン喜茂別岳へ変更します」との報告あり。このところの天候大荒れで、W氏の今日の予報は、雪の確立50%・気温-12°・風速12mとの事。どんな天気になる事やら、、、リーダー泣かせの天候です。喜茂別コンビニで、リーダーからポン喜茂別岳の地図をもらう。ここもまだ雪が少ないようだ。曇り空、風も無く穏やか。

8：45 登山口近くにある駐車場に着くと、札幌組のNさんGさんが待っていた。

9：00 スキー班・スノーシュー班共にNさんの掛け声で身体をほぐし、ビーコンチェックを済ませ出発。昨夜のうちに降ったのか、40～50cmの新雪。スキー班が先に行く。その後をスノーシュー班が続く。登り始めから鉄塔の廻りまでは、笹や灌木が出ている



。時々、灌木の脇に出来た空洞に足をとられる。要注意だ！！20分登って体温調整。

10：00 標高680m近くで大休止。風も無く薄日もあるが気温が低い為かすぐに汗も引いて行く。750m辺りで山頂が見えて来た。順次先頭交替で進む。スキー班のトレースを登るがフカフカ雪なので、スノーシューが沈んで結構体力を使う。

標高950mを過ぎた辺りで「今回、初登頂の人先に行っていていいよ～」との声があり、SさんKさんIさんと自分を含む4名で、皆さんのお言葉に甘えて、フカフカの雪を。

11：40 漕いで、揃って山頂に着きました。若いダケカンバの幹の上の方に標識がありました。全員でカメラに収まり、ツェルトの中で昼食をとり、

12：30 ツェルト撤収して下山。リーダー如く「冬山は天候が変わり易いので、登ってら一分でも早く下山する事。これが鉄則だよ」と。少し遅れて滑り降りてきたスキー班は「今日の雪は最高だね～～～」とうなっている。

13:40 登山口着。先に着いたスキー班は大満足の顔をしていました。私達も誰かが言っていた“シルキーパウダー”に満足でしたよ。駐車場で札幌組とお別れをし“洞爺いこいの湯“で、ゆっくり温まり帰路に着きました。天気予報も良い方になり、終日穏やかで最高的一天でした。

計画して頂いたリーダー・運転して下さったドライバーさんお疲れさまでした。有り難うございました。

記 八重樫

